

インクジェット・プリンター市場向け ドアレス恒温恒湿槽のご提案

インクジェット・プリンターの温度特性試験に対応

インクジェットやプリンター製品においては、温湿度条件下での信頼性確保が製品品質を左右する重要な要素です。グローバル展開を見据え、多様な使用環境への対応も大きな課題となっています。そのため、実際の使用環境を想定した動作評価を行い、現場での安定性や性能を検証することが不可欠です。評価の精度を高めるには、槽内の風を抑えて評価スペースを安定させる必要があります。そこで今回は、評価空間を微風状態に保てるドアレス恒温恒湿槽をご紹介します。

特徴

●評価スペースの微風状態を実現できます。

微風状態のため紙のような薄い素材、インクのように風の影響を受ける素材でも安定した評価が可能です。微風で気流が安定しているため、決められた印刷パターンに基づいた評価が可能です。噴射したインクの乾燥速度も一定に測定できます。

●観測窓がなく、槽内のワークを撮影・目視で確認することができます。

インクジェットの液滴評価で必要なストロボ撮影が可能です。紙送りの作業時にプリンターへ容易にアクセスできます。

●振動が少なく、ストロボを用いた液滴評価の撮影に使用できます。

インクの着弾位置がずれる恐れが少なく、にじみ・ぶれが軽減されます。液滴の動き・形状などの観察にも適しています。



試験事例

試験名	試験条件	試験目的
高温高湿試験	+35°C/80%RH +35~+40°C, 70~80%RH	・インクのにじみ、ノズルのつまりの確認。 ・ノズル内部の結露の確認。 ・インクの乾燥が遅れ、液滴が広がることによるにじみや着弾位置の変動を評価。
高温低湿試験	+35~+40°C/40%RH 約 6 時間放置後に印刷評価。	・液滴の乾燥ムラやノズル先端の乾燥によるつまりリスクの評価。 ・印刷品質の確認。
通電動作試験（高温環境）	+40°C/50~70%RH で 印刷連続運転（8 時間）	・高温環境下での安定動作確認。 ・印刷品質の劣化確認。
液滴特性評価	+20~+25°C/20~40%RH	・インクジェットの液滴形状の確認。 ・吐出安定性の確認。

ドアレス恒温恒湿 ラインナップ一覧

型式	LST134	LST265	LST234W-PF	LST365W-PF
温度範囲	-15°C~+80°C	-15°C~+80°C	-15°C~+80°C	-15°C~+80°C
湿度範囲	成り行き	成り行き	40%RH~80%RH	30%RH~80%RH
槽内寸法 WHD (mm)	796×660×460	1020×770×660	796×660×460	1020×770×660
外形寸法 WHD (mm)	950×1690×1050	1170×1790×1290	950×1690×1050	1170×1790×1290
電気容量	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 40A

* 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

* ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。



エスペックサーマルテックシステム株式会社

本社 住所：埼玉県戸田市美女木東 1-2-15
TEL : 048-423-1800 FAX : 048-423-1801

神戸事業所 住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6
TEL : 078-856-5181 FAX : 078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。
- あらかじめご了承ください。